

国語辞典のつかい方

多くの国語辞典は、左のようなしめし方をしています。

「はしら」

そのページにある、さいしょとさいごの見出し語がのっています。

見出し語	1004
漢字での書きあらわし方	ひろい
ひろい	①はばやは広さが大きい。 道が広い。 名前が広く知れわたる。
ひろい	②およぶ範囲が大きい。 心が広い人。
ひろいもの	③せこせこしないで、ゆったりしていきたいもの。
ひろいもの	④捨て物を拾うこと。 拾った物。拾い物を文番に届け

見出し語	1004
漢字での書きあらわし方	ひろい
ひろい	①はばやは広さが大きい。 道が広い。 名前が広く知れわたる。
ひろい	②およぶ範囲が大きい。 心が広い人。
ひろいもの	③せこせこしないで、ゆったりしていきたいもの。
ひろいもの	④捨て物を拾うこと。 拾った物。拾い物を文番に届け

言葉の意味

いくつかの意味がのっています。

その言葉をつかつたみじかい文がのっています。

ひろい

ふかい

ふとい

言葉の形

多くの辞典では、見出し語はつきのようにならんでいます。

「は・ひ」のような清音の後に「ぱ・ぴ」のような濁音、濁音の後に「ぱ・ぴ」のような半濁音の順番でならんでいます。

ホール
ホール

- 「シール」「ブール」のようなばす音がある語は、「しいる」「ぶうる」のように「あ・い・う・え・お」におきかえられて、ならんでいます。

カーボ→かあど チーズ→ちいず
ステップ→すうぶ ゲーム→げえむ

ゴール→ごおる

見出し語のならび方

見出し語をさがす

ときは、「つめ」や「はしら」をつかいます。

「ひろい」を調べるとき

ときは、つめて「は」のところを開きます。

見出し語は、五十音順にならんでいます。たとえば、「ひろい」と「ふかい」では、一字目をくらべて、「ひろい」が先になります。一字目が同じ場合は、二字目をくらべます。

「ひらがなとかたかな」

134ページ

「あ」のところには、「あ行（あ・い・う・え・お）」を一字目とする言葉がのっています。

つめ



かかない	ふかからう
かきます	ふかかつた
かくもの	ふかくなる
かけば	しづかだらう
かこう	しづかだつた

ふかい	しづかだつた
ふかい谷	しづかだつた
ふかければ	しづかだつた
しづかなか夜	しづかだつた
しづかならば	しづかだつた